

開催日時：平成 18 年 6 月 2 0 日（火） 17：00～19：00

開催場所：京都コンピュータ学院京都駅前校内 西新館 4 階会議室

参加者：中川, 藤関, 井上, 増田, 直江, 馬場, 土井, 古川, 事務局長：和田

配布資料：議事予定

新聞切抜(京都府の「安心・安全」のメール配信)

回覧資料：京都試作産業プラットフォームの仕組(京都制御ソフト工場)

京都産業 2 1 の組織全面改正について

## 議事

### 1. 試作産業創出関連(ソフトウェア試作グループの活動イメージ)

4 月 24 日実施した京都産業 2 1 との打合(板倉理事, 延広審議役, 森西課長)の概要及び京情協の活動イメージを説明する。

京都試作センター(株)の進捗(7 月 1 日に設立, 8 月 1 日より本格活動開始)及び京情協の一部会社も参加しグループを形成された京都制御ソフト工場の活動現状を馬場社長より説明して戴く。

上記 及び を受けて議論を開始する。主たる意見を記述する。

- ・ でんき試作ネット, 制御ソフト工場等のソフトも関連するグループと京情協が任務を担う必要があると考慮していたソフト全般の受け皿の活動とは矛盾するのではないかと、京情協も一部を担当(京情協の企業で自社の得意技は受託を受ける)する位置付けで責任を全うするスタンスでなくて良いのではないかと？
- ・ もともとソフトに関しては積極的なスタンスを京都産業 2 1 は保持していない。従って「海のもの山のもの」とが明確でない段階で犠牲的精神を発揮し、やることはないのではないかと？
- ・ 可能性は決して高いとは考えないがソフト関連の技術力向上のテーマ(現状の顧客の延長上では出会う可能性が低い仕事)を拾う仕組を考慮しても良いのではないかと？
- ・ 地域情報化委員会では参加希望の会社の得意技を集約提示する、及び最後のソフト引合の受け皿を考慮するスタンスで時間稼ぎし状況進展を見守るのが良いのではないかと？

20 日の議論を受けて、以下のスタンスを京都産業 2 1 側に申し入れていきたいと思えます。(この部分に異論のある人はメールを下さい。)

- ・ 切り分け不可能なソフト案件に関しては電話を振って下さい。(これまでの議論は参加希望者が分担しての考え方であったが、当面件数も少ない事が予測されるので地域情報化委員長会社の弊社がその任を担う。)

- ・ その後顧客側の依頼内容の登録,メール配信,当日若しくは翌日での議論で受注の方向で臨むか否かの決定に関しては従来と同一である。
  - ・ 京都試作センターの進捗を見ながら京情協の企業の得意技を必要に応じて調査していく。
2. 新春賀詞交歓の講演テーマ
- ・ 講演テーマを議論する。結論には至らず。7月18日の地域情報化委員会の際には各自案を提示し,決定の段取りとする。
3. 他府県情報産業団体関連
- 議論すべき内容ブロックは以下である。
- ・ 会員の範疇及び会費の関係
  - ・ 現状の各種事業の評価
  - ・ 京都のストック(京ブランド,伝統,観光)を生かすとは議論する時間が不足したので次回以降にする。
4. その他
- 次回の地域情報化委員会
- 日時： 7月18日(火) 17時～
- 場所： 京都コンピュータ学院京都駅前校内 西新館4階会議室

以上